

掲載しきれないイベントの写真などは糸満市の「フェイスブック」や「Instagram」、**「ラインアット」**に掲載しています。



グ
ラ
ム
ス
タ



ブ
ッ
ク
ス



ラ
イ
ン

沖縄サッカーキャンプ ガルタ仙台キャンプ

日本プロサッカーリーグの1部リーグで活躍する「ベガルタ仙台」のキャンプがスタートするにあたり1月13日、西崎陸上競技場で歓迎セレモニーが行われ、木山監督と選手に花束が贈呈された後、沖縄の特産品が贈られました。セレモニー後には、市内のサッカークラブに所属する子どもたちを対象にサッカー教室が開かれ、ミニゲームなどを行い交流を深めました。サッカー教室に参加したFC西崎の与那嶺正虎さん(西小6年)は「体当たりが強いところと、パスのファーストタッチが正確なところがすごいと思いました。プロとの交流はなかなかできないので、貴重な体験になりました」と感動していました。



糸満市ふるさと応援寄附金 国吉商店から200万円寄付

株式会社国吉商店の国吉浩代表取締役社長と國吉利江子専務が12月26日、市役所を訪れ、上原昭市長へ寄付金200万円を贈呈しました。今回の寄付は、子どもたちの貧困対策に役立ててほしいとの思いから行われたもので、糸満市ふるさと応援寄附金制度の返礼品なしを利用して寄付されます。国吉社長は「糸満市に貢献できることを大変うれしく思います。子どもたちのために役立ててください」と話しました。



令和元年秋の叙勲受章者 それぞれの分野で3人が貢献

政府が11月3日付で令和元年秋の叙勲受章者を発表し、糸満市関係者では、旭日中綬章に地方自治功労で元県議会議員の新垣哲司さん、旭日小綬章に地方自治功労で元糸満市議の大城正行さん、旭日双光章にスポーツ振興功労で県ウエトリフティング協会顧問の大湾朝民さんが受章しました。大湾さんは「受章して終わりではなく、市からオリンピック選手を出せるよう、スポーツ強化に取り組んでいきたいです」と話しました。

旬の話題をお届け! とれたて いとれば



糸満サッカー大会 糸満蹴球会が優勝

8月から10月の間に行われた「2019 伊江朝睦杯OFA 第23回沖縄県シニアO-40 サッカー選手権大会」、12月1日に行われた「沖縄県シニアサッカー連盟O-40リーグ」の2大会で、40歳から50歳までの糸満高校OBで作るチーム「糸満蹴球会」が優勝に輝きました。糸満蹴球会のメンバーは「優勝し九州大会派遣が決まった瞬間は、まだまだサッカーが楽しめるという喜びでいっぱいでした。40歳になっても活躍できる大会があるので、もう一回青春がきたという気持ちで毎日楽しいです」と話しました。報告を受けて上原昭市長は「大会2連覇おめでとうございます。九州大会に向け、いい結果を残せるよう頑張ってください」と激励しました。

子チャイルドシート寄贈 育てに役立てて

子育て支援の一環として沖縄ツーリスト株式会社が12月26日、市役所を訪れ、チャイルドシート61台を寄贈しました。沖縄ツーリスト株式会社の中村靖副社長は「沖縄県はチャイルドシートの装着率が全国に比べて低く、問題となっています。このチャイルドシートを活用してもらうことで少しでも子育て世代の助けになることを願います。今後も連携して長く継続できるように取り組みたいです」とあいさつしました。



スポーツ用品寄贈 スポーツのバトンを繋げて

市内児童施設へスポーツ用品を寄贈するにあたり、株式会社ドームの関係者が12月18日、市役所を訪れました。株式会社ドームの森広晴康総務企画部長は「スポーツ用品を受け取った子どもたちが、やってもらったことを次代に受け継いでもらうことで、いいバトンを繋いでいけるよう取り組みを続けています。スポーツ用品を通して、健康作り、体力作りの一助になってほしいです」と話しました。